

2. 区民部会の進め方

2-1. まちあるき点検

昨年度のまちあるき点検では、特定事業者から点検要望のあった施設・経路を対象に点検を実施し、障害当事者等の意見をバリアフリー整備に直接反映するとともに、事業者と区民の協働による特定事業の推進を図りました。

今年度は、資料1に示すとおり、「バリアフリー整備における知見集」の作成にあたって今後実施する「区民部会委員や施設設置管理者等への事例照会」の結果を踏まえ、特徴的な事例を点検対象施設・経路に設定し、まちあるき点検を実施します。

点検対象施設・経路の検討次第、区民部会委員の皆様にご連絡いたします（10月頃を想定）。

2-2. こころのバリアフリーに関する取組

全体構想では、スパイラルアップの一環として継続される協議会の場を活用してこころのバリアフリーに関する意見交換や勉強会、ワークショップなどを実施し、成果を広く発信することにより、こころのバリアフリーの推進を図ることとしています。これを踏まえ、平成28年度から令和5年度までに以下の取組を実施しました。

表2-1 過年度におけるこころのバリアフリー推進の取組

年度	取組内容
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 意見交換によるこころのバリアフリーの実情の共有 ● こころと情報のバリアフリーに関する今後の取組のアイデアの検討
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別支援学校へのアンケート及びヒアリング調査による当事者の声の収集 ● 啓発用リーフレットの作成 ● 協議会や合同意見交換会での事業者への障害理解の実践
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 区立小学校へのアンケート調査による子どもの障害者への配慮状況の把握 ● 視覚障害者誘導用ブロックを活用した案内表示の検討 ● 事業者への障害理解の実践（合同部会での障害疑似体験） ● 区民（民生委員）への障害理解の実践（ポッチャ体験・施設見学会）
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 区立小学校へのアンケート調査による子どもの障害者への配慮状況の把握 ● VRによる啓発動画の作成に向けた情報収集・体験・企画案の検討
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ● VRによる啓発動画の作成 ● VR動画視聴会
令和3～4年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 区立小・中学校におけるVR動画活用による啓発活動
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ハートスポーツフェスタ2023」と連携したVR動画体験会による啓発活動

今年度も引き続き、区民部会が主体となった人的対応・こころのバリアフリーの推進に向けて、区民部会委員のみなさまのご意見や関係者との調整を踏まえ、実現可能な取組を検討します。

表2-2 今年度のこころのバリアフリー推進の取組案（※検討中）

実施目的	こころのバリアフリー等の内容について、区民等に広く周知・啓発を図ることで、バリアフリーに関する意識の定着を目指す。	
実施方法	北区の既存イベントと連携し、こころのバリアフリー等のポスター掲示や、VR動画を活用した啓発活動（体験会）を行い、参加者にアンケート調査を実施。	
実施場所	以下の既存イベントとの連携を想定。 <ul style="list-style-type: none"> ・区民祭り（赤羽会館、滝野川体育館等） ・ハートスポーツフェスタ（昨年度と同様） 	
VR 動画体験会のイメージ		